

地質ニュース

昭和 61 年 8 月

第 384 号

1 9 8 6

フィリピン金の金鉱床：そのタイプと生成モデル.....	石原舜三	6
鉱物資源を考える.....	立見辰雄	26
伊豆・小笠原弧の火山フロントで..... 熱水性硫化物発見さる	海底熱水鉱床 研究グループ	39
IASPEI 国際会議ヒマラヤ巡検に参加して.....	楠瀬勳一郎	40
もう1つの“星の砂”.....	福田理	48
地質調査所を創った一冊の本 DAVID PAGE (1874) “ECONOMIC GEOLOGY”.....	中村光一	55
海外室だより.....	海外室	68
長野 NAGANO	加藤碩一 赤羽貞幸	71

口 絵 伊豆・小笠原海域で発見された熱水性硫化物..... 海底熱水鉱床
研究グループ

編集 地質調査所

発行 株式会社 実業公報社

表紙の写真

伊豆・小笠原海域 西之島の南方約65km に海形(かいかた)海山がある。海形海山は4つの山体からなりそのうちの3つは北北東から南南西に連なる。残りの1つは少し東にずれて独立し 頂部にカルデラが形成されている(本誌グラビア図1参照)。我々はこれを海形カルデラと呼んでいる。1985年4～5月のGH85-1航海でこのカルデラ壁の下部から熱水性硫化物を伴う岩石が採取された。

この写真は そのような硫化物の一部で 黄鉄鉱と石英を主成分とする脈をなすものである。若干緑色を帯びた部分には緑泥石が含まれている。サンプルの長辺が約2cm(写真:浦辺徹郎 文:中尾征三)

9月号予定目次

新素材セピオライト—近くて遠い粘土—

稲田に囲まれた離水海食地形を那珂台地周辺に訪ねる

多角形カルデラの再発見と浅熱水性金鉱床

南水洋の調査と地質